



東洋大学



愛媛県社会福祉士会

「生活上の問題を抱える子どもを支援する」

東洋大学人間科学総合研究所では、「アウトリーチによる相談支援および相談員研修活動」に特別研究予算をとり、研修を受ける機会が限られている全国各地のソーシャルワーカーを対象に、無償で研修を提供しています。東洋大学の佐藤亜樹先生（旧愛媛県社会福祉士会子ども家庭支援部会員）が2018年3月まで松山（大学）におられたご縁で、今年度は愛媛県での研修が開催されることとなりました。

折りしも今年度、県教委の要請で当会から南予の被災地にスクールソーシャルワーカーを派遣しているところでもあり、県内の子ども家庭福祉分野で日々活躍・苦闘しているワーカーの専門性を高めるための研修を合同で企画しました。

子ども虐待や貧困などが社会問題化しており、注目している方も多いことと思います。複雑な家族背景や家庭環境をもち、親以外の大人の関わりを必要としている子どもは皆さんの周りにも必ずいます。多様な問題を抱える子どもたちへの関心・理解を深め、どのような支援ができるか考えるきっかけにもなる内容の研修です。皆様のご参加をお待ちしております。

対象者 会員、準会員、手続き中の方等

日時 2019年9月14日(土)・15日(日)（詳細は下記日程参照）

場所 愛媛県総合社会福祉会館 4階 視聴覚室
松山市持田町3丁目8-15 TEL 089 - 921-5070
(駐車スペースは僅かです。
近隣の有料駐車場をご利用ください。)



日程	9/14	14:00～16:00	講義「スクールソーシャルワークの実践について」 講師:馬場幸子(関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科准教授)
	9/15	10:00～12:00	講義「被災地児童やその家族・学校・地域への支援の実際」 講師:森田明美(東洋大学社会学部社会福祉学科教授)
		12:00～13:00	— 昼食休憩 —
		13:00～15:00	講義「新たな子ども家庭福祉のあり方について」 講師:泉谷朋子(東洋大学社会学部社会福祉学科実習助教)
		15:00～15:15	— 休憩 —
		15:15～17:15	講義「人間の生活における動物が果たす役割」 講師:佐藤亜樹(東洋大学社会学部社会福祉学科准教授)

参加費 無料（全ての講義を受講していただくことを原則としています）

申込 申込用紙に記入しFAX、郵送又はE-mailでお申込下さい（9/6 〆切）

【講師プロフィール】

森田 明美

現東洋大学社会学部社会福祉学科教授、東洋大学社会貢献センター長。他にも、東京都ひとり親家庭自立支援計画（第4期）策定委員会会長、東京都世田谷区子ども・子育て会議、東京都世田谷区子ども・青少年協議会会長、東京都西東京市子ども・子育て審議会会長等を歴任。埼玉県、飯能市、和光市、東京都、西東京市、世田谷区、千葉県八千代市、船橋市等の子ども・子育て支援計画、次世代育成支援 行動計画、推進委員会、子ども・子育て計画、権利擁護の仕組みづくり、保育サービスの質の向上などにかかわる。

専門は、子どもの権利を基盤にした児童福祉学。日米の共働き・シングルマザー・シングルファーザー、10代の母親など子育て家庭の実態と、保育所・幼稚園、児童館・放課後児童クラブなどによる子育て支援に関する実証的研究を行ってきた。地域や家庭で子どもが育つことを支える仕組みをどのように作りだすかが研究の中心課題である。関東を中心に、保育所や児童養護施設の理事・評議員・苦情解決委員としての活動や、13自治体の子ども計画や子育て支援計画策定と推進、評価にかかわってきた。また、子どもの権利実現のための実践研究や国連 NGO・NPO 活動にも関わっている。

主な著書に、『子どもの権利—アジアと日本』三省堂、『子どもの権利条約から見た日本の子ども』現代人文社、『子どもの相談・救済と子ども支援』『子どもにやさしいまちづくり第2集』『逐条解説 子どもの権利条約』『子どもの権利日韓共同研究』『子ども計画ハンドブック』『子ども条例ハンドブック』以上日本評論社、『よくわかる女性と福祉』『シングルマザーの暮らしと福祉政策-日本・アメリカ・デンマーク・韓国の比較調査』『日米の働く母親たち』『日米のシングルマザーたち』『日米のシングルファーザーたち』以上ミネルヴァ書房/『生活変動と社会福祉』放送大学出版等がある。

馬場 幸子

関西学院大学社会学部卒業、関西学院大学大学院社会学研究科博士前期課程終了（修士）、米国ケースウェスタンリザーブ大学修士課程修了（MSSA）、米国イリノイ大学アーバナシャンペイン校博士課程修了（Ph.D. in Social Work）。東京学芸大学生活科学講座准教授を経て現在、関西学院大学人間福祉学部准教授。

専門はスクールソーシャルワークと子ども家庭福祉。

泉谷 朋子

明治学院大学卒、英国ブラッドフォード大学大学院ソーシャルワーク&ソーシャルケアコース修了、明治学院大学大学院博士課程満期退学。児童・女性福祉施設、行政機関（福祉職）勤務を経て、目白大学を経て、現在、東洋大学社会学部社会福祉学科助教（実習担当）。専門は子ども家庭福祉、ひとり親世帯への支援、児童虐待について。厚生労働省新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会委員、児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会委員などを歴任。

佐藤 亜樹

奈良県生まれ。米国コネチカット大学大学院ソーシャルワーク学部博士課程修了（Ph.D.取得）。同志社大学文学部、同志社大学文学研究科博士課程（前期）修了後、京都の社会福祉法人に勤務。2002年に渡米し、2014年に帰国。松山大学を経て、現在、東洋大学社会学部社会福祉学科准教授。米国ミシガン大学大学院（M.S.W.取得）及び米国コネチカット大学大学院在学中は、ソーシャルワーク援助過程、面接技術、実践理論、及び量的社会調査法について学んだ。現在は、飼い主にとってのペットの存在の意味について、また、飼い主のペットとの愛着関係の強さや質が、飼い主の幸福（well-being）や行動にどのような影響を及ぼすのかについて研究している。また、ペットとの愛着関係の強さや質が、災害時の飼い主の避難行動にどのように影響を及ぼすのか、家族内での動物虐待や児童虐待との関連性、ペットを失った飼い主の悲嘆への支援についても研究中である。

参加申込用紙

申込先:愛媛県社会福祉士会事務局 FAX(089)948-8032

9/14(土)・15(日)開催 東洋大学共催研修

【締切】9/6(金)

ふりがな 氏名	
所属	
連絡先	TEL
○で囲む	会員 (NO.)・ 準会員 ・
Eメールアドレス	

※FAX 送信表は必要ありません。そのまま FAX して下さい。

愛媛県社会福祉士会

《 事務局 》

〒790-0905 愛媛県松山市樽味2丁目2-3

ラ・マドレーヌビル2F

TEL (089) 948-8031 FAX (089) 948-8032


MAIL eacsw@mbr.nifty.com

HP <http://ehime-acsw.com/>

主 催



東洋大学

 愛媛県社会福祉士会

企画運営

地域生活支援部会子ども家庭支援委員会